

AIオンデマンド交通実証実験について

令和5年7月25日

令和5年第1回豊能町地域公共交通会議資料

AIオンデマンド交通実証実験に関する協議事項

■ 令和5年7月25日の地域公共交通会議における協議事項は下記のとおりです。

1. 営業区域

豊能町西地区

【吉川地区、ときわ台（ときわ台一丁目～六丁目）、東ときわ台（東ときわ台一丁目～九丁目）、光風台（光風台一丁目～六丁目）、新光風台（一丁目～五丁目）】

2. 運行態様（事業種別）

運行態様：一般乗合旅客自動車運送事業 区域運行（道路運送法施行規則第3条の三）

3. 運賃の種類、額及び適用方法

【普通運賃】大人（中学生以上）：300円

幼児・小児（小学生以下）、大人障害、幼児・小児障害：100円

【定期運賃】1ヵ月 大人：5,000円

幼児・小児、大人障害、幼児・小児障害：2,000円

4. 運行期間及び運行時間帯

運行期間：令和5年(2023)10月17日～令和6年2月19日

運行時間帯：9：00～17：00

運行回数：1台1時間あたり最大6便運行

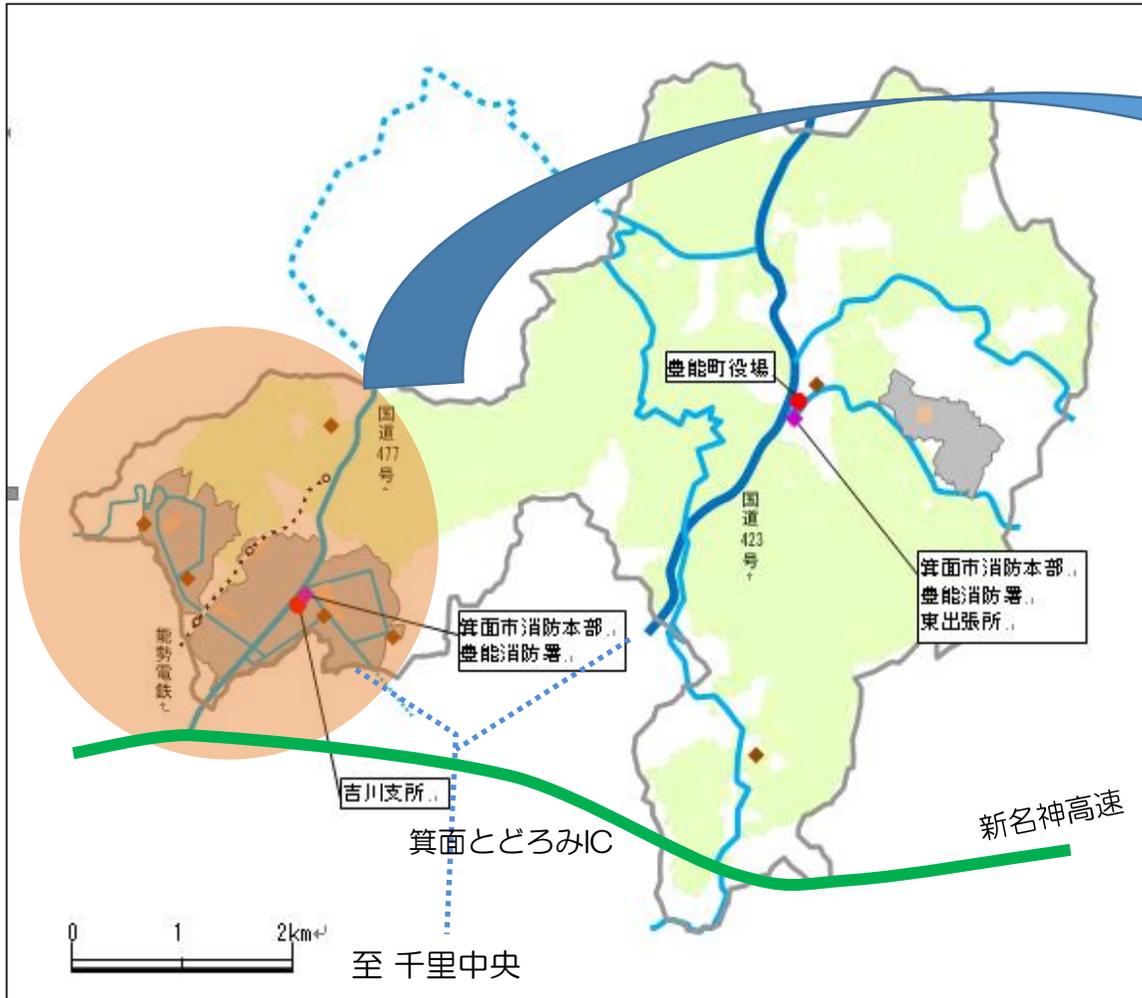
5. 使用車両及び台数

使用車両：ワンボックス車両（乗車定員10人（旅客定員8人））

車両台数：3台

1. 運行対象エリア

(1) 運行対象エリア（西地区：吉川・ときわ台・東ときわ台・光風台・新光風台）

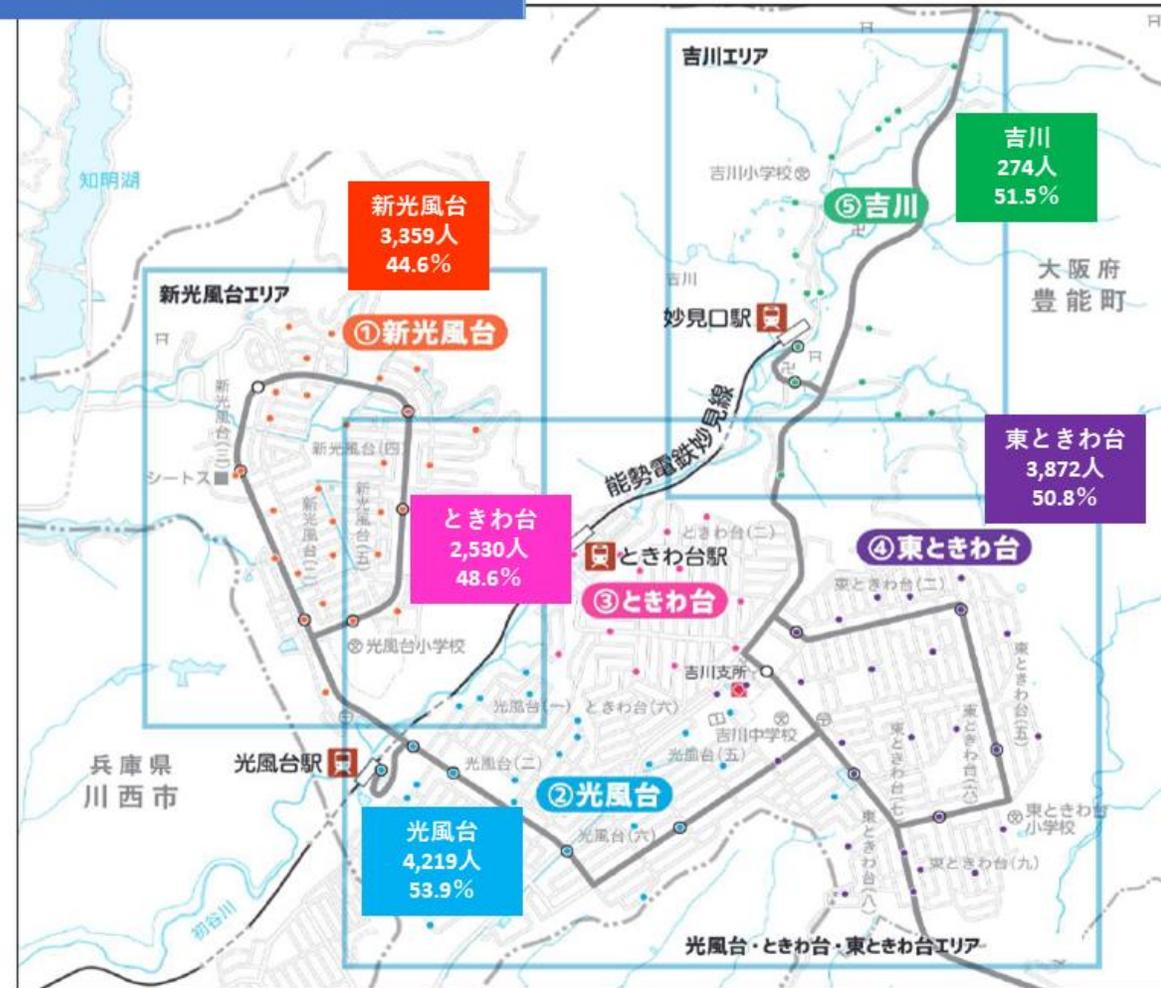


2. 対象エリア概要

西地区（吉川、ときわ台、東ときわ台、光風台、新光風台）

対象人口	14,254人
世帯数	6,637世帯
高齢化率	49.9% (町全体48.7%)
豊能西バス路線 (平均乗車人員/日)	470人/日
西地区デマンドタクシー (平均乗車人員/日)	11人/日

R5年5月のデータ %は65歳以上の割合



3. 実証実験の概要

概要

項目	内容
実施主体	豊能町AIオンデマンド交通実証実験運営協議会 【豊能町・阪急バス・京都タクシー】
実施期間	令和5年10月17日～令和6年2月19日（129日間）
運行時間	9：00～17：00
運行事業者	阪急バス株式会社、京都タクシー株式会社
事業許可	区域運行（道路運送法施行規則第3条の三）
対象エリア	豊能町西地区（吉川、ときわ台、東ときわ台、光風台、新光風台）
エリア面積	約 4.5km ²
使用車両台数	3台（ワンボックス車両：乗車定員10人（旅客定員8人））
乗降拠点設置箇所数	111箇所（想定）
運賃設定	一乗車300円（大人）
予約方法	予約アプリまたは電話

※乗降拠点設置箇所数については、今後の公安協議等により変更となる可能性があります。

4. ミーティングポイント（想定）

○ミーティングポイントは、日常の移動目的となる施設を中心に設定

地区	地点数	主な地点
吉川	15箇所	妙見口駅、吉川保育所
ときわ台	13箇所	ときわ台駅、池田泉州銀行、ひらがクリニック、ゆかりデンタルクリニック
東ときわ台	27箇所	吉川支所、保健福祉センター、吉川中学校、東ときわ台小学校、阪急オアシス、井上医院、小原歯科医院
光風台	24箇所	光風台駅、図書館、西公民館、光風台小学校、デイリーカナート、西浦医院、氷見歯科、光風台診療所（加藤歯科）
新光風台	32箇所	シートス、コープ、新光風台郵便局、まわたり内科、森井整形外科クリニック
計	111箇所	



シート型



ミニ標版



ミニ標版
(バス停併用)



【目印設置イメージ】
設置場所の状況による
適切な標示形態を選択
(塩尻市の事例)

5. 運行車両

○運行エリア面積 約 4.5km² 3台で運行

○運行車両

項目	内容
使用車両	ワンボックス車両 (乗車定員10人 (旅客定員8人))
車両台数	3台で運行 (予備車あり)
車両デザイン	右写真のとおり

○車両イメージ

WAGON スーパーロング/ロング・ワイドボディ・ハイルーフ/ミドルルーフ (2WD/4WD)

■ワゴン グランドキャビン

14人乗り	ロングバン	3000ディーゼル
10人乗り	スーパーロングバン	2700ガソリン
4ドア	ワイドボディ	4 A/T
	ハイルーフ	2WD
	ミドルルーフ	4WD



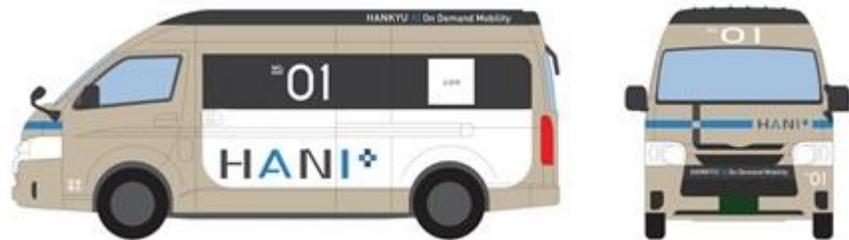
Photo: 2WD・2700ガソリン・ワゴン グランドキャビン。ボディカラーのノーブルパールトーンⅡ <2JZ> <75,600円> はメーカーオプション。アルミホイール <64,800円>、両側固定式リヤサイドガラス <-6,480円>、LEDヘッドランプ <64,800円>、スマートエントリー&スタートシステム <35,640円>、パワースライドドア <69,120円>、ステアリングスイッチ <2,160円> はメーカーオプション。



6. 予約イメージ

●専用アプリから簡単に予約

(スマホをお持ちでない方は、電話予約もできます。)



【AIオンデマンド交通とは】

「AIオンデマンド交通」とは、従来の定時定路線型の路線バスではなく、利用者の予約に対してAIによる最適な運行ルートを設定し配車をリアルタイムで行う乗合輸送サービスのこと。

利用者は実証運行エリア内のミーティングポイントであれば、どこでも乗降が可能となる。

あくまでオンデマンド交通なので、乗合を前提としており、複数のミーティングポイントを経由しながら運行します。そのため、目的のミーティングポイントに着くまで時間がかかる可能性があります。



7. PR方法

周知方針

- 住民向けのプロモーションとして、各種説明会の実施とその場で参加者にアプリのダウンロードと登録する機会をつくる。
- 説明会は、想定するターゲットに応じて、自治会館、公民館、老人福祉センターなどの場所から選定して行う。
- また、町広報紙やホームページへの掲載、チラシの配布等を予定している。

カテゴリ	プロモーション施策	メインターゲット
説明会	自治会、老人クラブ等を通じた説明会の開催	高齢者
	公民館での説明会の開催	若年層
Web	町のホームページ内に専用ページ開設	全町民
各種SNS	Instagram、Facebookアカウントでの情報発信	学生
公共交通との連携	車両広告など	高齢者
広報紙	町の広報紙に掲載	全町民
その他	よろず相談所 (町内1カ所に設置：月2回開設)	高齢者

8. スケジュール

- 令和6年度実装導入を目指し、実験を進めたい。
- これを実現するため、
 - ① 令和4年度と令和5年度に国費、府費などを活用した実証実験の実施。
 - ② 並行して、法定協議会を立上げ、地域公共交通計画の策定と地域の合意形成を目指す。
 - ③ 実装運行時の運行補助（国費）の活用も検討。

<実装導入へのスケジュール>

	R4(2022)			R5(2023)				R6
	2	3	4	1Q	2Q	3Q	4Q	
AIオンデマンド導入	→ 実証①					→ 実証②		→ 実装
地域公共交通 会議等		● 地交会議 実証①報告			● 地交会議 今回：実証②協議	● 地交会議	● 地交会議 実証②報告	● 地交会議 地域公共交通計画策定

<実証実験へのスケジュール>

実証① (1か月) 新しい交通を 認知してもらう	→ 実証①							
実証② (4か月程度) 実装に向けたサービス 水準の確認				● 府補助金申請	→ MT公安など調整	→ 実証②		
				● 国補助金申請		● 住民説明会		